

# 集中豪雨に 備えて



出典：(一財) 消防防災科学センター「災害写真データベース」

近年、気候変動などの影響で、集中豪雨による洪水や土砂災害が頻発しています。

自然は、時に人間の力や想像を超える災害を引き起こします。しかし、私たち一人一人が予防策をすることで、その被害を減らせます。いざというときに落ち着いて行動できるように、日頃から防災の正しい知識を身に付けておきましょう。

## ● 早めの情報収集を！

集中豪雨は天気予報などから情報を収集することで、あらかじめ対策を立てることができます。

## ● 早めの避難を！

天気予報などで、大雨が予報されているときは、大雨になる前にあらかじめ避難することが重要です。

逃げ遅れたときや、外に出るのが危険な状況の場合は、無理に避難せず屋内に留まり、上層階や、崖から離れている部屋で身の安全を確保しましょう。

## 避難情報のポイント

● 避難に時間のかかる人は警戒レベル3で避難

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、「警戒レベル3 高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。

避難する際に支援が必要な人のために、災害時避難行動要支援者名簿を作成しています。未登録の人は危機管理課消防・防災担当 ☎(580) 1899 に相談してください。

災害による危険がすでに差し迫っている場合は、災害対策本部室 ☎(501)2211 に相談してください。

## ● 警戒レベル4までに避難を

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待つてはいけません。

市ではホームページやハザードマップなどで防災についての情報を公表しています。活用してください。

◇ 危機管理課（市役所新館3階）

各コミュニティセンターで配布

◇ 市ホームページからダウンロード



市総合  
防災マップ



市の防災・  
災害関連情報

## ペットの 災害対策について

災害が起こったときに最初に行うことは、飼い主自身や家族の安全確保ですが、ペットの安全確保についても、普段から考え備えておく必要があります。

災害時、あなたとあなたの大事なペットを守るために、事前にできることを考えましょう。

## ● 備えておくことの例

- ◇ 十分な水や食料の他、常備薬などの用意
- ◇ 基本的なしつけ
- ◇ 普段から飼い主以外の人や他の動物、ケージなどに慣れる訓練をしておく
- ◇ ワクチンの接種、寄生虫の駆除など健康面の確認
- ◇ 避難所や避難ルートの確認
- ◇ マイクロチップなどを装着しておく

## ● 問い合わせ先

循環型社会推進課生活環境・最終処分場担当

☎(580)1887



環境省  
ホームページ